

令和2年度

当初予算を可決

2月定例会において、令和2年度の「一般会計予算」、「特別会計予算」、「企業会計予算」を可決しました。
 令和2年度の当初予算は、一般会計1兆8,517億2千万円、特別会計9,557億8千万円、企業会計387億3千万円の規模であり、一般会計では前年度当初予算に比べ659億円、3.7%の増で、過去最大となっています。
 また、一般会計331億円の補正予算と一体となった14か月の予算としています。

当初予算の事業のうち主なものをご紹介します。

★豪雨災害の復旧・復興、防災減災

○豪雨災害の復旧・復興

被災した道路や河川などの復旧を加速化
 ……375億4,718万円
 営農再開と産地の復興を支援
 ……7,119万円
 被災者の住宅確保を支援…1,100万円



○防災減災

緊急輸送道路等を整備
 ……243億5,060万円
 洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進…273億4,593万円
 ため池、クレーク等の安全対策を実施
 ……77億9,726万円
 地域防災力を強化…488万円



★住み慣れたところで「働く」ことができる地域社会づくり

○中小企業の支援

中小企業向け制度融資を充実
 ……融資総枠6,884億円を確保
 現場の実態とニーズを踏まえて中小企業の生産性向上を支援…1億5,098万円
 地域商品券による地域経済の活性化を支援
 ……4億1,395万円



○先端成長産業の振興

ベンチャー企業を支援…1,755万円
 最新技術を活用した製品・サービスの開発を支援…1,746万円
 北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを推進…5,052万円



○稼げる農林水産業の振興

農林水産物のブランド力を強化し、販売・消費を拡大…2億8,129万円
 農林水産物の輸出を拡大
 ……1億3,228万円
 スマート農林水産業を普及
 ……1億2,639万円
 園芸農業の競争力を強化
 ……15億3,200万円



○観光の振興、本県の魅力発信

宿泊税を活用した新たな観光振興施策を展開…11億8,989万円
 世界文化遺産の保存活用を推進
 ……6,441万円
 アンテナレストランを活用して魅力を発信
 ……3,834万円



○将来の発展基盤の整備

福岡・北九州空港を整備…74億538万円
 北九州空港の利用を促進
 ……5億2,232万円
 三池港の利用を促進…5,536万円
 基幹的道を整備…156億6,106万円
 下関北九州道路の実現に向けた取り組み
 ……360万円



★住み慣れたところで「暮らす」ことができる地域社会づくり

○県民の健康づくりの推進

健康づくり県民運動を推進
 ……1億3,088万円
 ひきこもり状態にある人を支援
 ……2,794万円
 がん等の患者を支援…805万円



○スポーツ立県福岡の推進

「福岡県スポーツ推進基金(仮称)」を創設
 ……26億4,023万円
 「福岡県スポーツコミッション(仮称)」を設置…2,271万円
 障がい者スポーツを推進
 ……971万円



○文化芸術の振興

新・県立美術館基本計画を策定…3,093万円

○女性、高齢者、障がいのある人の活躍推進

企業における女性の活躍を推進…7,442万円
 70歳現役社会の実現に向けた取組み…1億6,997万円
 障がいのある人の自立と社会参加を支援…1,974万円

○就職・仕事の支援、働き方改革の推進

若者・就職氷河期世代の就職を支援…4,420万円
 外国人材の受入体制を整備…2,635万円
 介護人材の確保・定着を支援…7,464万円

○徹底した治安の確保

飲酒運転撲滅対策を強化…437万円
 性暴力対策を強化…4,639万円
 ストーカー・DV対策を強化…436万円
 高齢者の安全運転を推進…3,523万円



○快適な生活環境の整備

空き家の活用・処分を促進…3,297万円
 買い物弱者を支援…1,180万円
 地域の生活交通を確保…819万円

○資源の有効活用の推進

風力発電の普及を促進…716万円
 プラスチックの資源循環を促進…6,756万円



★住み慣れたところで「育てる」ことができる地域社会づくり

○子ども・子育て支援の充実

幼児教育・保育の無償化を実施…119億9,019万円
 児童相談所の体制を強化…1,453万円
 里親養育等を推進…6,669万円
 新生児聴覚検査体制を充実…707万円

○ふくおか未来人材の育成

県立学校のICT環境を整備…3億6,225万円
 地域と一体となった学校づくりを推進
 ……1億6,829万円
 小・中・高校の教育相談体制を強化…4億2,441万円
 高校生等の修学を支援…236億5,702万円
 高等教育の無償化を実施…34億3,729万円



里親が育てる。
 社会が支える。
 <フォスタリングマーク>
 里親制度の普及、里親養育を支える
 ネットワークづくりのシンボルマーク



令和二年二月

定例会の概要

2月定例会は、2月26日に召集され、3月27日まで31日間の会期で審議が行われました。
 今定例会には、国の補正予算に係る経済対策の効果を速やかに発揮させるための令和元年度補正予算議案1件、これと一体となった14か月予算となる令和2年度当初予算議案20件、「福岡県スポーツ推進条例の制定について」など条例議案25件、契約の締結に関する議案8件、経費負担に関する議案5件、人事に関する議案2件、その他の議案2件、計63件が提出されました。
 さらに、新型コロナウイルス感染症に関する国の緊急対応策(第2弾)を踏まえ、本県における感染拡大の防止及び各種課題への対処を図るための補正予算など令和元年度補正予算議案13件、経費負担に関する議案11件の計24件が追加提案されました。
 審議に当たっては、新型コロナウイルス対策、日田彦山線問題、福祉労働問題、環境問題、農林水産問題、教育問題など県政全般にわたり活発な議論が交わされました。

また、3月11日に予算特別委員会が設置され、付託された「令和2年度福岡県一般会計予算」など20件の当初予算議案について審議が行われました。

審議の結果、提出された議案87件については、いずれも原案のとおり可決または同意されました。(6面に予算特別委員会の概要を掲載しています。)